



渡辺 泰子
「A MAP
THEY COULD ALL
UNDERSTAND.」

だまし舟（午前8時53分までの太陽光と太陽光の間での旅）、2022 © Yasuko Watanabe, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

会期：~~2022年7月8日（金）—8月6日（土）~~

2022年7月8日（金） - 8月27日（土）*ご好評につき会期を延長いたしました。

（2022年8月11日（木） - 8月17日（水）の期間、展覧会は開催しておりません。

会場：Yumiko Chiba Associates

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206

営業時間: 12:00-18:00 定休日: 日、月、祝日

*オープニングレセプションは開催致しません。

トークイベント: 「スナーク狩り後日談」*事前申込制

登壇者: 渡辺泰子×神山亮子（府中市美術館学芸員）

日時: 2022年7月16日（土）16:00-17:30

会場: MORETHAN BANQUET / THE KNOT TOKYO Shinjuku 2F（東京都新宿区西新宿 4-31-1）

主催: 公益財団法人 東急財団

本展は五島記念文化賞美術新人賞における成果発表展として、東急財団（旧：五島記念文化財団）より助成を受け開催いたします。

美しい時代へ東急グループ



【ご来廊時のご協力につきまして】

*発熱、頭痛、咳、呼吸困難、倦怠感、嗅覚味覚異常など体調のすぐれないお客様はご来廊をお控えいただくようお願い致します。

*マスクのご着用をお願い致します。またご来廊時には入口にて手指のアルコール消毒と、非接触型体温計による検温にご協力いただくようお願いしております。

*万が一関係者などから新型コロナウイルス感染症の発症があった場合、連絡を差し上げられるよう、ご連絡先の記入をお願い致します。

*大人数での来廊はなるべくお控えください。

*混雑が発生した場合は、入場制限をすることがございますのでご了承ください。

ギャラリーでの換気のため、常時ドアと窓を開放しております。スタッフは毎日必ず検温を含む健康チェックを行い、手洗い、消毒液による殺菌をこまめに行なっております。

2022年7月8日(金)よりYumiko Chiba Associatesにて、**渡辺 泰子 個展「A MAP THEY COULD ALL UNDERSTAND.」**を開催致します。

Yumiko Chiba Associates では、渡辺泰子の個展を開催いたします。本展は、フェルト、紙、写真、映像などの複数のメディアを使い、活動を展開してきた渡辺の、当スペースでは初の個展となります。

渡辺は、旅や地図を出発点として、境界や距離、移動や越境といった問題に関心を寄せ、身体的・物理的な次元と空間的・認識論的な次元が交錯する作品を手がけてきました。ごく単純な作品の現れをもちながら、複数のスケールが重層・拡張し、距離や方向の感覚がダイナミックに反転する渡辺の作品は、それ自体が「旅」の経験を結晶させたような、境界や場所の動的な揺らぎと空間的な越境可能性をたたえています。

本展では、折り紙の「だまし舟」をモチーフにしたハンドメイドフェルトによる作品や、写真を素材とする作品などを発表します。なお、本展は、「五島記念文化賞美術新人賞」における成果発表展として、東急財団（旧：五島記念文化財団）より助成を受け実施されます。



A MAP THEY COULD ALL UNDERSTAND.

コンセプトシート

- だまし舟
私は自分の舳先をコントロールすることはできない。
- 山折り、谷折り
実線ではない彼らによって大地に折り目がつき、風景が生まれ、地図になる。
Mountain fold [— — — — — — — — —]
Valley fold [· — · — · — · — · — · —]
- Spectrum
連続帯、範囲。境界のあり方として自立したグラデーション領域。
名指されぬよう、そして名指せぬ自分を受け入れるために、擬態するように移り変わる自分を受け入れる方法。
- 杖
ここではないどこかへ行く。ここにいられなくなったからあの風景の先を目指す。
- 見つからない・見つけたい・迷うしかない
真っ白な地図を見ながら航海を続ける私は、いつのまにか変わっている舳先の向きを変えるのが目の前の君（複数形）であってほしいとどこかで願っている。それが君（複数形）であれば舟は永遠に大きさを変化させ、航海を続けることができる。それほど素晴らしいことはない。

Yasuko Watanabe

ステートメント

A MAP THEY COULD ALL UNDERSTAND.

本展は、白地図から出発した旅のその後の旅、だまし舟での旅、これからも出現し続けるであろう軌跡と行先を手繰り寄せる、地図をめぐる展示となっています。

五島記念文化賞美術新人賞の海外研修における帰国成果展としての今回の個展では、私がどんな旅をしてきたのか、そしてどんな地図を使用したのかをテーマに構成しています。

かつての2012年、私は、ルイス・キャロルのナンセンス小説、「スナーク狩り」に登場する地図——それは姿形も、どこにいるかもわからない怪物、スナークを探すためのもの——、何も指し示さない、真っ白な白地図をつくりました。

その白地図を頼りにずっと旅を続けてきた私は、その後、海外研修の機会を得て、目的地としてアメリカとイギリスを選び、2018年から1年間5つのタイムゾーンを越えながらの新しい旅をしました。

■ 関連情報

【トークイベント】

「スナーク狩り後日談」*事前申込制

登壇者：渡辺泰子×神山亮子(府中市美術館学芸員)

日時：2022年7月16日(土) 16:00-17:30

会場：MORETHAN BANQUET / THE KNOT TOKYO Shinjuku 2F(東京都新宿区西新宿 4-31-1)

*ホテル正面エントランスから入って左手にある階段から2Fに上がって頂き左の廊下を進んでいただくと奥にエレベーターがございます。
その先にあるお部屋が会場になります。

定員：20名

参加費：無料(事前予約制)

【お申し込み方法】

件名に「トークイベント参加」、本文に「お名前」「参加人数」「電話番号」をご明記のうえ、event@ycassociates.co.jp までメールで



お申し込みください。*定員(20名)になり次第、受付を終了いたします。*ギャラリーから返信メールが届かない場合、営業時間内にお問合せください。

登壇者プロフィール

神山亮子

戦後日本美術史研究。府中市美術館学芸員。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。作品と基礎資料の調査を基礎に、展覧会企画や論文を通して戦後日本美術史の記述を行う。

担当した展覧会に「高松次郎—思考の宇宙」(2004年)、「多摩川で/多摩川から、アートする」(2009年)、「虹の彼方」(2012年)、「描く児—O JUN 1982-2013」(2013年)、「青木野枝 霧と鉄と山と」(2019年)、「池内晶子 地のちからを集めて」(2021年)。主な執筆に「可能性のドローイング」(『高松次郎 All Drawings』大和プレス発行、2009年)。共編著に『高松次郎を読む』(水声社、2014年)。

【書籍刊行】

会期中に、これまでの代表作を収録したカタログが刊行されます。

『A MAP THEY COULD ALL UNDERSTAND.』

A5 判変型/本文 52 頁 (カラー20 頁+モノクロ 32 頁)
日英バイリンガル

撮影：石川卓磨

執筆：中嶋泉 (大阪大学准教授)、森啓輔 (千葉市美術館学芸員)

翻訳：パメラ・ミキ・アソシエイツ

編集：櫻井拓

デザイン：岡田和奈佳

発行：niddle-noddle

■アーティストプロフィール

渡辺泰子 (Yasuko Watanabe)

1981 千葉県生まれ
2007 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油画コース修了

助成

2017 平成 29 年度第 28 回五島記念文化賞美術新人賞
(2018 年 3 月-2019 年 3 月新人賞副賞として海外研修(米英))
2014 公益財団法人 朝日新聞文化財団

<主な個展>

2015 「WOW! シグナル」 GALLERY SIDE 2 (東京)
2011 「tempestoso/fantastico」 gFAL, 武蔵野美術大学 2 号館 1 階 (東京)
2010 「starlight star」 GALLERY SIDE 2 (東京)
2008 「chorus」 GALLERY SIDE 2 (東京)

<主なグループ展>

2019 「Small Infinity」 MA2Gallery (東京)
2018 「象る、象られる。」 Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku (東京)
2017 「いちはらアート×ミックス 2017」 IAAES(旧里見小学校) (千葉)
2016 「アートいちはら 2016 春」 IAAES(旧里見小学校) (千葉)
「d.10 window Exhibition」 ポレスター新町プレミアムステージ (青森)
「断片から景色」 アキバタマビ 21 (東京)
「夕方帰宅してみると (sabbatical company)」 milkyeast (東京)
2015 「カメラのみぞ知る」 HAGIWARA PROJECTS (東京)
2014 「Paper Object Festival」 Kalnciema iela (ラトビア)
「PIOON プロジェクト ヴァンジ彫刻庭園美術館イケムラレイコ PIOON 展関連企画」 TRATTORIA LA BOCCA (静岡)
2013 「雲をつかむ作品たち」 アートプログラム青梅 青梅市立美術館 (東京)
「サマー・ドローイング・ショウ」 GALLERY SIDE 2 (東京)
「常設コレクション」 ビュフェこども美術館 (ヘルナール・ビュフェ美術館内) (静岡)
「IMAGO MUNDI」 Fondazione Querini Stampalia Castello5252 (イタリア)
「地上より」 GALLERY SIDE 2 (東京)
2012 「虹の彼方」 府中市美術館(東京)
「small sculptures」 GALLERY SIDE 2 (東京)
「絵画のなかで/へ」 MA2Gallery (東京)
2008 「Formless Life」 村住宅 1F (金沢)



- 2007 「トランザクション (Transaction)」 GALLERY SIDE 2 (東京)
「アート・アワード・トーキョー」 行幸地ギャラリー (東京)
「武蔵野美術大学卒業制作優秀作品・修了制作選抜展」 (東京)
- 2006 「上を向いて歩こう」 naca・NPO 法人アートコアあおもり (青森)
「シャドウ (shadow)」 GALLERY SIDE 2 (東京)
- 2005 「武蔵野美術大学卒業制作優秀作品・修了制作選抜展」 (東京)

<上映>

- 2014 「Paper Object Festival」 Kalnciema iela (ラトビア)
- 2010 「MAM SCREEN」 TOHO シネマズ六本木ヒルズ、森美術館内モニター、メトロハットスリーン他 (東京)

<文献>

- 2022 白坂由里 アート連載「境界のかたち」 Vol.9 (WEB)
<https://tokion.jp/2022/06/08/timeline-project/>
- 2015 勝侯涼 『美術手帖』 3月号、Vol.67、no.1020、pp.196-197
- 2013 森啓輔 「遠い彼方へ向かって—世界が〈起ち上げ〉られる時」 (「雲をつかむ作品たち」 アートプログラム青梅リーフレット)
- 2012 『府中市美術館だより』 vol.36
MA2 Gallery 「絵画のなかで／へ」 3月 (WEB)
- 2011 袴田京太郎 (「TEMPESTOSO/FANTASTICO」 リーフレット)
- 2010 森美術館 MAM SCREEN 9月 (WEB)
http://www.mori.art.museum/contents/sensing_nature/exhibition/main.html
「Go! Artists Go! vol.43 渡辺泰子」 『美術手帖』 2010年4月号、935号、pp.127-130
「新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション」 『美術手帖』 2010年6月号、937号、p.74
- 2009 『HERS』 12月号、p.43
- 2008 Shirasaka, Yuri, studio voice online (WEB)
Haruko Kohno, Art it (WEB)
『美術手帖』 2月号 Vol.60、No.904、p.195
『ELLE DECO』 2月号、No.94、p.56
『美術の窓』 1月号、No.292、p.181
沢山遼 「渡辺泰子 Chorus」 『アート遊覧』 1月 (WEB)
<http://www.art-yuran.jp/2008/01/chorus-a3e2.html#more>
- 2007 「特集 新人大図鑑 2007」 『美術の窓』 4月号、283号、p.37
真武真喜子 「世界の見方」 『怒涛のっ! あおもりアート商店街記録集』 pp.76-78/ naca npo 法人アートコアあおもり (WEB)
<http://www.jomon.ne.jp/~coolman/watanabe.html>
- 2006 宮村周子 「渡辺泰子「shadow」展」 『美術手帖』 12月号、889号、p.254

エッセイ

- 2019 「船を漕ぐ」 1月号、月刊文芸誌『すばる』 (集英社)

連載

- 2015 「向こうの何処か」 1月号～12月号扉、雑誌『なごみ』 (淡交社)

<コラボレーション>

- 2019 「ラプラタ川」 舞台美術、劇団ベビー・ピー (全国19箇所公演、2019年瀬戸内芸術祭参加作品)
- 2015 「ふまじめな絵本」 ショートストーリーでの舞台美術とシナリオでのコラボレーション
- 2013 「play [melt] space」 一人芝居 根本コースケ (劇団ベビー・ピー)
作品インスタレーションと演劇のコラボレーション (アートプログラム青梅参加作品)

<ワークショップ>

- 2019 「あるかもしれない惑星をつくろう!」 多摩六都科学館 (東京)
- 2014 「モンスター紙相撲」 Kalnciema Quarter (ラトビア)

<アーティストコレクティブ>

Sabbatical Company

<https://www.sabbaticalcompany.com/>

Timeline Project

<https://timelineproject.wixsite.com/>